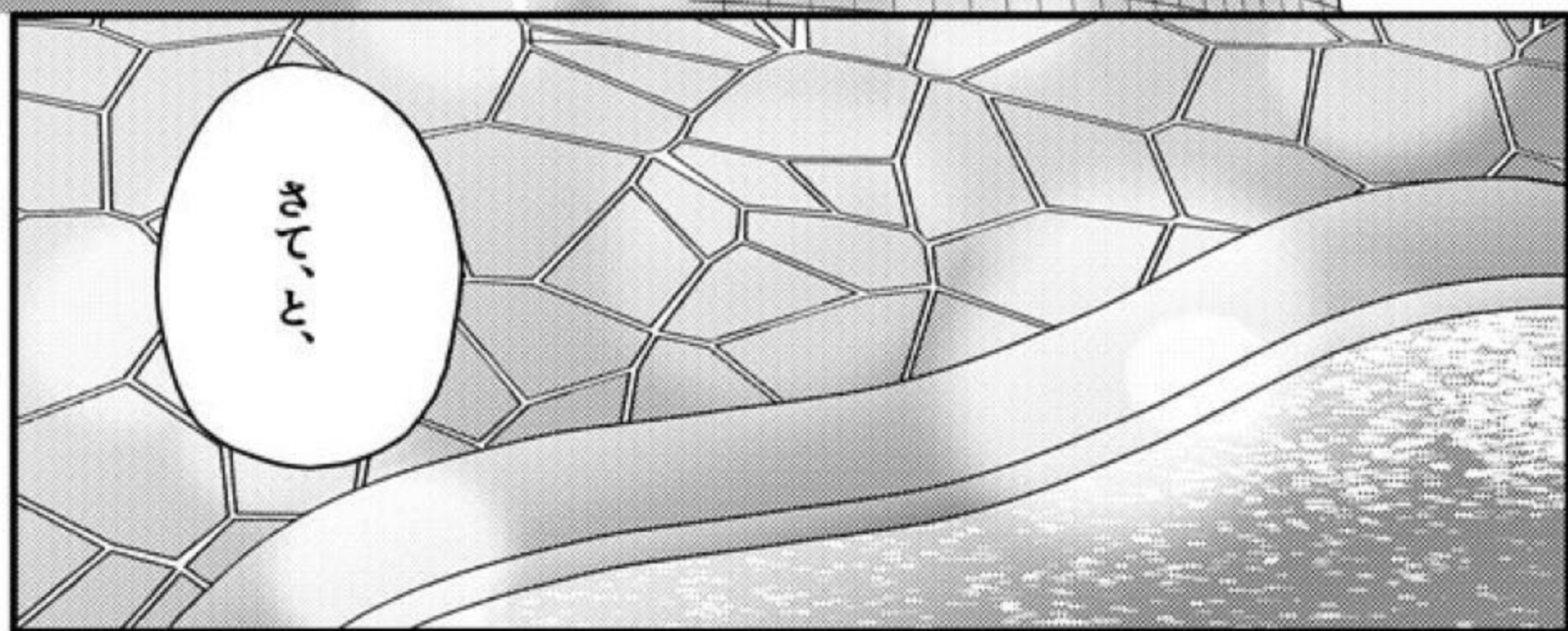




あなたのとなり

FOR ADULT ONLY

















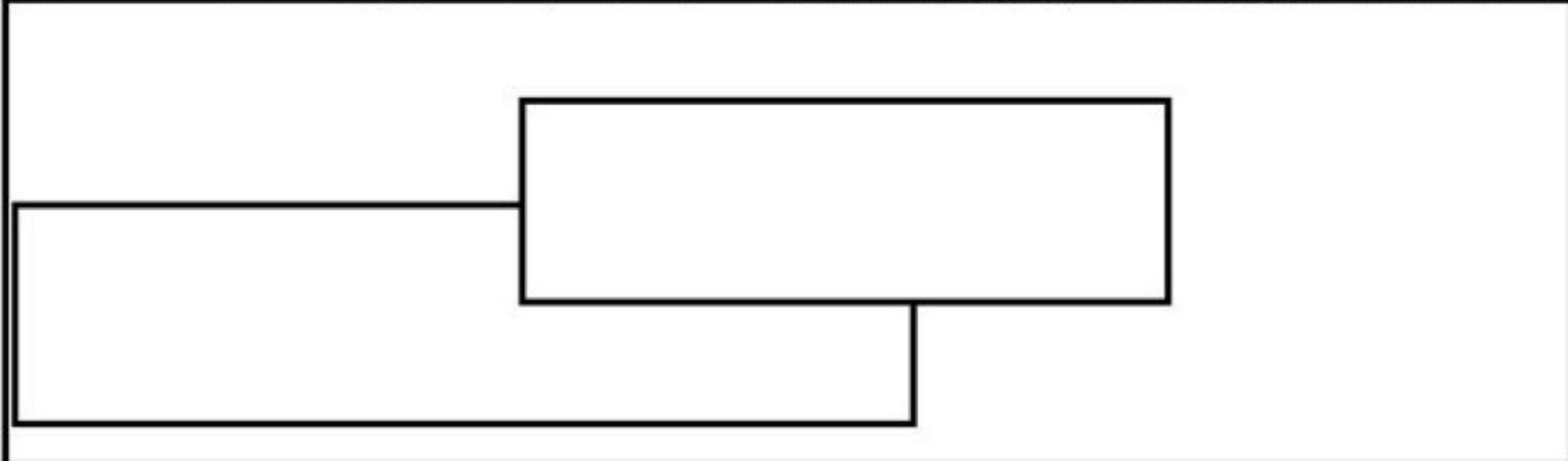
凜、

今のは忘れて——

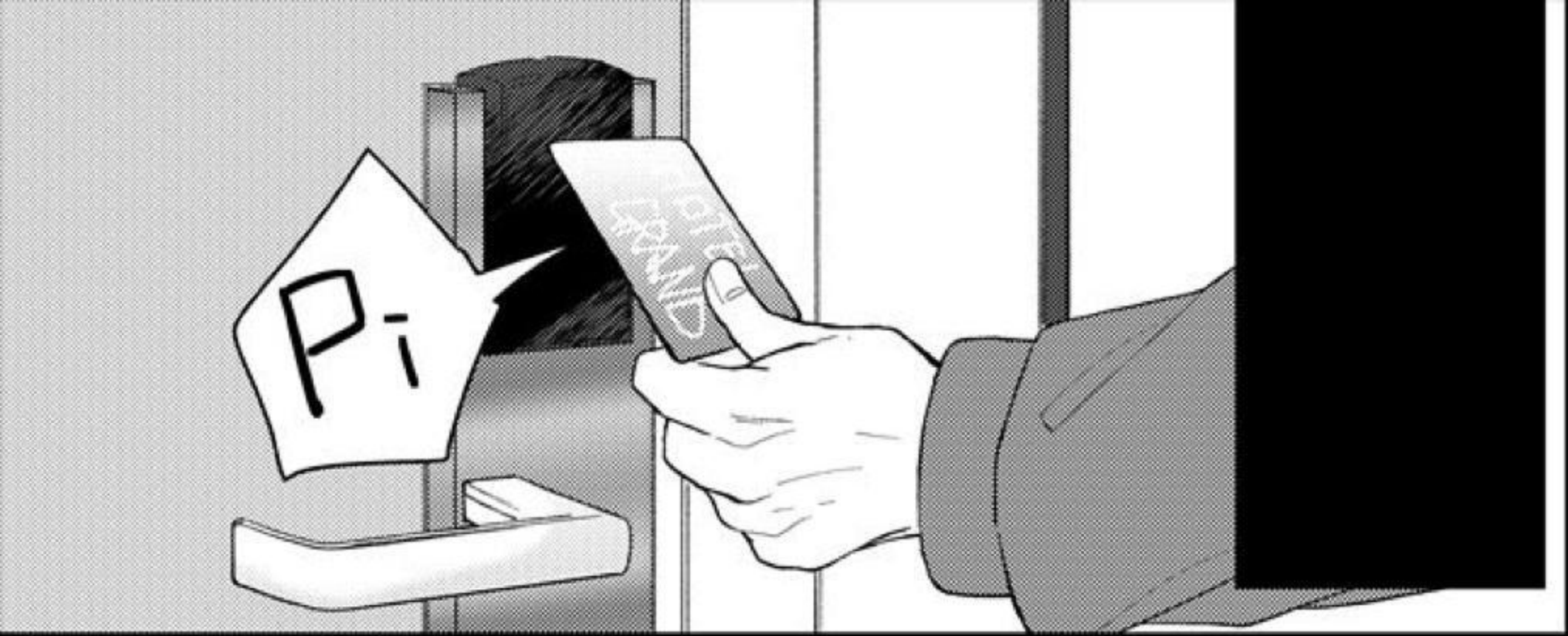
悪い、ハル。



もう少し  
一緒にいたい







ったく



ま、おおかた  
東コーチとケンカして  
きまずいんだろな

ガキかっつもの。

帰りたくないから  
一緒にいてくれって







凜、

凜

凜、

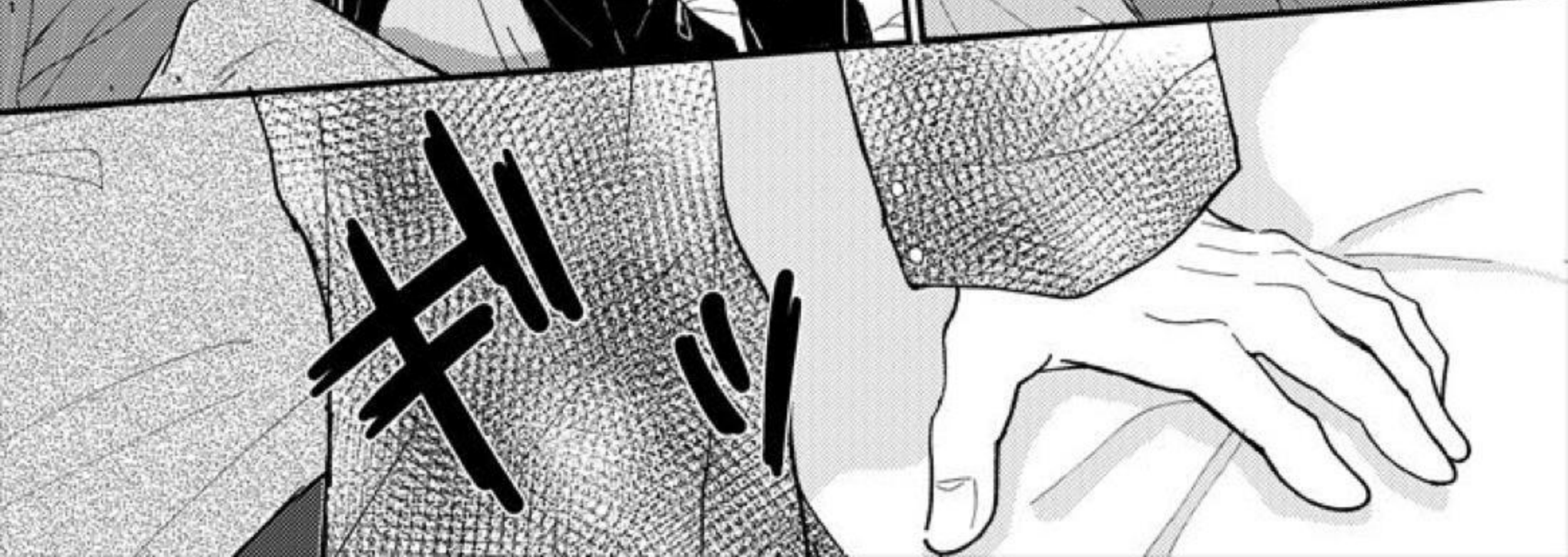
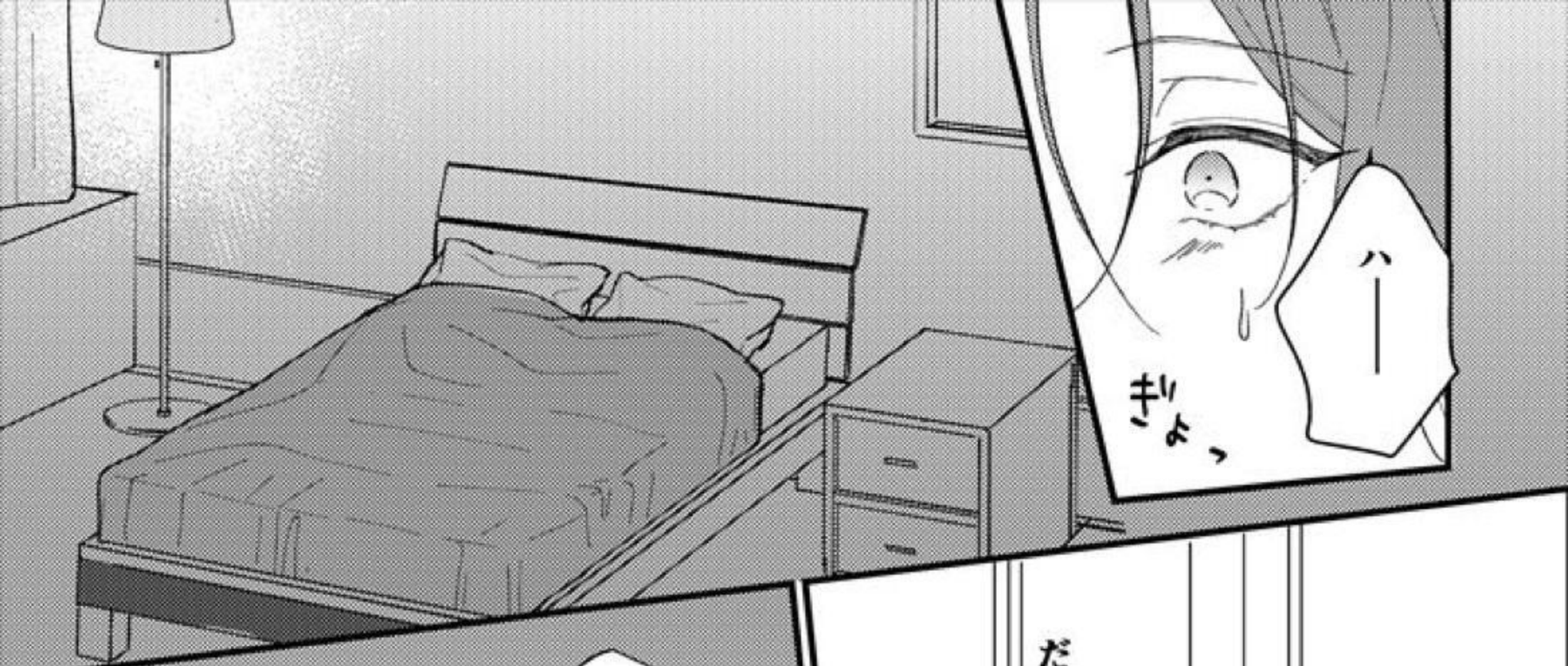
凜

うん。













ちよ、え、  
ハル——!?



待て待て待て、  
あり、ありえねえ  
だろ!?

おれとハルは  
そういうんじゃない  
ねえし

そりやまあ  
ただの友達かって  
言われたら、それは  
違う気もするけど

混乱



嘘だろ!?

「おれとハルは一緒だろ」って  
そりやまあ——!



ま、待って、

待ってくれ











これまでだって、  
何回もお、

お前を、傷つけて

これから先も  
きつと――

それでいい。



そのままでもいいんだ、







俺もずっと、



おいかけれるから。





やめてくれ



ずっと、ずっと  
蓋をしてきたんだ。

何もかも  
気付かないふりをして

憧れだと言いついて聞かせて





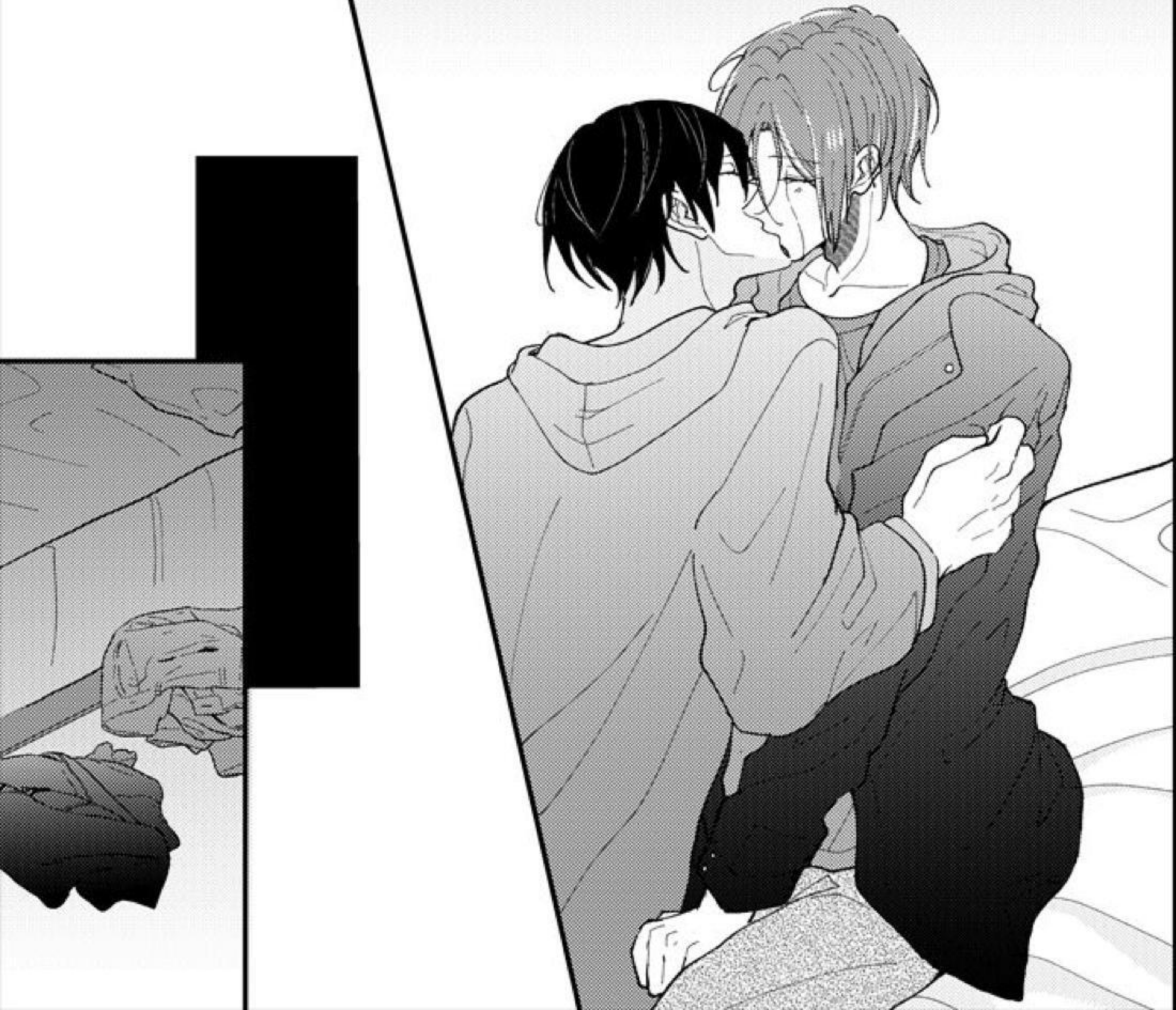


この気持ち  
が恋だなんて





気付きたくなかったのに。







.....



?  
どうした?

あ、いや、お前も  
勃つんだなあって  
思ってた...

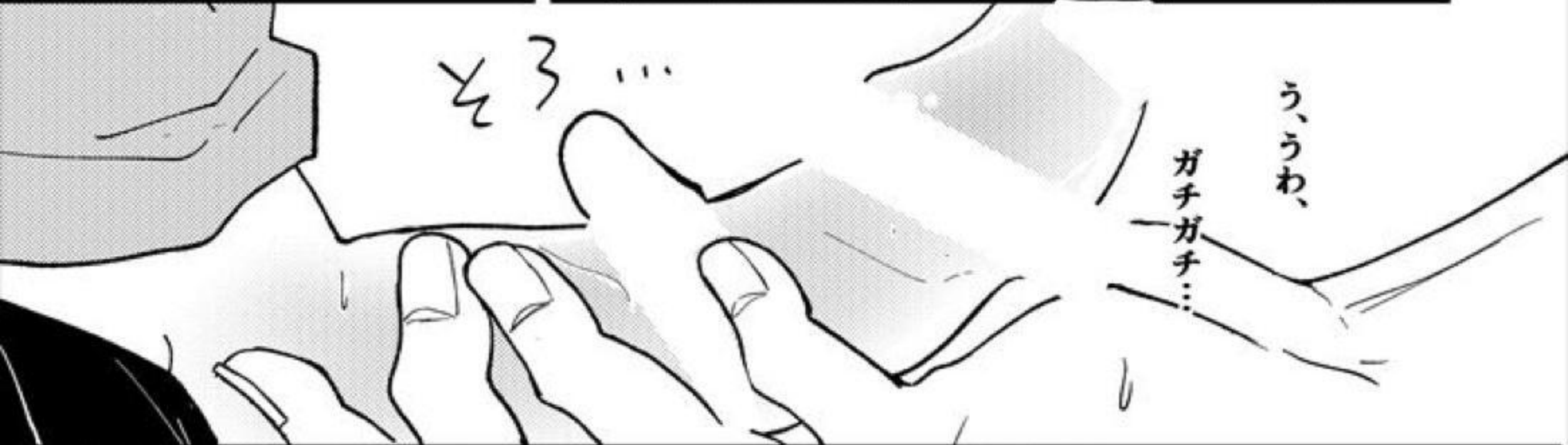
俺のことを  
なんだと思っ  
てるんだ



触ってみるか?











スッ

もうやめろー！

凍っ！

それって

~~~~~

あ、し

ニヤッ



今からこれを

お前のなかに  
入れるから。

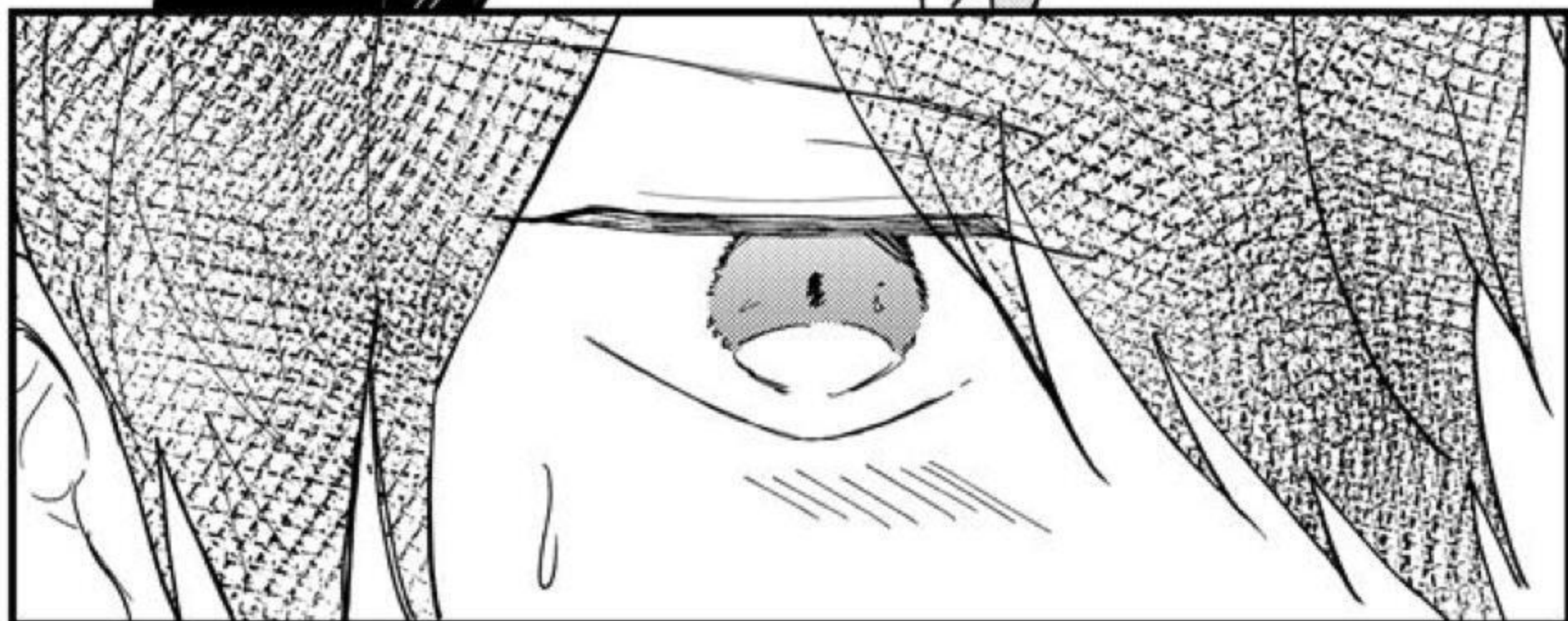




いっせいで。

分かるよな？

意味、



この

燃えるような青に  
見つめられて

拒める人間が  
いるのだろうか。





悪い、  
痛かったか？

あ、いや、

だいじょぶ。



くっそお、勢いで  
頷いちまったけど、

よくよく考えたら、  
なんで俺が下なんだよ。



な、なあハル、

もうそのくらいで  
大丈夫じゃねえかな

ダメだ。

もつとちやんと  
ほぐさないと。



















は、ハル！？

何してんだよ、急に！

はー

挿れる

はっ

はー

はあ！？

ちよっと待て！

お前今自分で、

ぬりゅっ

ぬんん

と

まだ早いって、言っ...

アッ

















そ、それはそうかも  
しれねえけど、



ひっ

びっ



やばいこれ

痛いのと、  
気持ちいいのが、

ちよ、待、  
一緒に来て、



はーっ

んんん



は、ハル!  
ストップ!

もういい!  
前はもういいから!

痛いかな?

ごめん、  
あと少しだから



頑張ってくれ、  
凜、

そ、そうじゃな、









あ、ぶなかった...

全部、入った。

寮、大丈夫か？

はい

はい

りー

ぶっぶっ

ぶっぶっ



ひ、ひど、だから俺は、やめろって、

い、言ったのに

わ、悪い、まさかそういう意味だと思わなくて

やめろ!!!

はっはっ

んあ、ぐちゅっ

や、ダメ!!!!!! 動くな!!!!!!

..... 動いてるのは 寮の方だろ。



悪かった。

次は気を付けるから。

.....クッソお、

ずるいだろ。

.....

はっはっはっ





そんな顔されたら

何も言えなくなる



何泣いてんだよ。

凜のが  
うつったんだろ。

はは、  
言ってるっつーの。

ばーか。









「俺もずっと、  
追いかけるから」



クッソお、

平和そうな顔で  
眠りやがって



ほんと、バカみてえ。





必死で追いかけてるのは

俺の方だけだと思ってたよ。

ハルも同じだったんだな。

お前の光でありたい。

俺にとってのお前が、  
そうであるように、



追いかけて、

追いかけてられて

そうやって  
この先もずっと

同じ夢を  
見続けるんだ。

あなたの隣で

